

東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

2016年1月号《No.7》

東京YMCA西東京センター内 〒186-0002 東京都国立市東1-20-102

TEL 042-577-6181/FAX 042-577-5574

今月の聖句

何事も、思い煩っては成らない。ただ、事ごとに、感謝をもって祈りと願いをささげ、あなたがたの求めるところを、神に申し上げるが良い。

ピリピ人への手紙4章6～7節

主題

国際会長	Wichian Boonmapajorn	「信念のあるミッション」
アジア地区会長	Edward K. W. Ong	「愛をもって奉仕をしよう」
東日本区理事	渡邊 隆	「原点に立って、未来へステップ」
あずさ部長	標 克明	「ワイズメンとして一歩前進」
武蔵野多摩会長	宮内 友弥	「共に学びあい、活かされる社会を目指して」

ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う

五つの誓い

1. 自分を愛するように隣人を愛そう
1. 青少年のためにYMCAにつくそう
1. 世界的視野を持って国際親善をはかろう
1. 義務を果たしてこそ権利が生ずることをさたろう
1. 出席第一と奉仕第一とを旨としよう

ワイズメンズクラブの目的

1. 個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する。
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する。
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する。
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる。
5. 健全な交友関係を作り出す。
6. この協会の国際・地域・区の事業を支援する。

12月の出席率82% 在籍者11名 出席者9名 メネット1名 YMCA.Ys合同クリスマス例会

新年を迎えて

会 長 宮内 友弥

新年明けましておめでとうございます。

会長として2年目の本年度、残り6ヶ月をマンネリに陥らないように皆んなで新しいことに取り組みクラブの活力を引っ張り出そう、盛り上げたいそして山口次期会長にバトンタッチをと思っています。私事になりますが、今年はワイズに入会して早13年目を迎えます。振り返ってみると最初の3年間はあまり例会にも出席しないメンバーでした。ところが今では、学生時代の仲間、仕事を共にした現役時代

の仲間などにも増して私にとってワイズはなくてはならない素晴らしい存在です。

折しも東日本区では、会員数減少傾向が続いています。「ワイズとは何か、ワイズの楽しさとは」は人それぞれでしょうが、その素晴らしさを外にも伝え、賛同を得られる価値観を共有する仲間を増やしたいものです。

我がクラブにも新しい仲間が与えられる期待を膨らませて、今年も充実したワイズライフをエンジョイしましょう。

2016年1月在京ワイズ合同新年会の様子

日時 1月9日12時30分 会場 桜美林大学多摩アカデミーヒルズ
司会 並木信一メン（東京八王子クラブ）奏楽 戸坂 昇子メン（東京YMCA）
武蔵野多摩クラブからゲスト 大輪 匡史氏・麻生由美子氏のリーダーOB
聖書 マタイによる福音書 25章14～30節
奨励 「新しい年、自分のタレントを生かして生きよう」
大美林大学チャプレン・専任講師 薛（しゅえ）恩峰 牧師

皆さんのポケットには千円札一枚です。これで生き延びられると思うか、定食とコーヒー一杯でおしまいと考えるか。千円もあるはプラス思考、千円しかないがマイナス思考です。

私が留学生として大阪空港に降り立ったときポケットの有り金は二千円でした。わたしはプラス思考です、YMCAのただのお茶に始まり今では沢山の中華料理が作れます。現在桜美林大学チャプレンとして桜花（謳歌）しています。プラス・マイナス思考は物事に対する対処が積極的か消極的かの違いです。理解と本質を考える為には積極的肯定的あることが大切ではないでしょうか。

マタイによる福音書25章のタラントンの奨励、師の生き方を重ねて伝わってきた。

タラントンのたとえ話は神の国を比喩的に語られています。話としては分るがすんなりと受け入れられる話ではないようです、早稲田のYMCA愛信学舎で学生と話したとき「タラントンの与え方がそもそも不公平ではないか」の声が上がりました。

タラントンはタレントの語源で量では無く質のことなのです。神から一人ひとり違った賜物を与えられそれをどのように用いたかを問われているのです。

自分に磨きをかければ努力すればするほど能力が出てくる、使わねばもっているものまで失ってしまう。差ではなく違いなのです。

能力をどう活かすか、パラリンピックはオリンピックより地味に見えますが障害を持ちながらそれを遥かにこすプラス思考で耀く選手たちを見ます。{生きにくい時代、目に見えないところでもくもくと頑張っている若者たちもいる}

私たちは神から与えられた能力をも見出すことに失敗し自分自身をマイナス思考になりがちではないでしょうか、恵みと能力を与えられていること忘れず新しい年プラス思考で豊かに送られることを覚えダイヤモンドでなくても朝露のように最期まで耀き続けようではありませんか。

今年の在京ワイズ新年会は、我がクラブのゲスト大輪 匡史さん麻生 由美子さんが参加され滑走路にスタンバイの機体（期待）満帆だった。

二月第一例会は2月3日水曜19時です。

板村 哲也氏 大輪 匡史氏 麻生 由美子氏 3名の入会式があります。

合同新年会会場で大輪氏と卓話の打ち合わせをしました。氏は思いがあふれタイトルを一言で言えない状況。私が勝手にタイトルをつけることになりました。
そのとき現役時代の気持ちに帰っている自分を発見しました、自分を試し試される緊張とひらめきを探す毎日。12月は伊佐副会長が1月には石丸副会長が語っている事と同じ気持ちでした。

フットサル日本代表監督の言葉に学ぶ

副会長 石丸由理

フットサル日本代表監督を務めるスペイン人、ミゲル・ロドリゴさんが、小学生のサッカーチームを1週間に亘って教え、その記録をまとめた《奇跡のレッスン》というNHKBSの番組があった。

教えてもらうチームの小学生は、普通のサッカー教室に通うこども達。

指導している監督はこども達の為に一生懸命頑！

細かく指示を与えて奮闘しているのだが、あまり強いとは言えないチーム。

そこにロドリゴさんが登場！

突然現れた外人の指導者に、こども達はもうびっくり！大声を出してはしゃぐものの、ロドリゴさんが色々な質問しても、肝心な時はなかなか声が出せなかったり、たらたらと返答したり・・・と、今どきのこども達。

そんなこども達に、『サッカーはチームで戦う物なので、1人1人が個で戦うのではなく、周りの事を考えて動く』つまり1人の能力を伸ばす練習ではなく、他人とのかかわりを大切にしながら伸ばしていく、という理念のもと、指導が始まります。

『できる事から始めて、みんなができるようになったら、どんどん課題のレベルを変化させ、いつもチャレンジの気持ちを持たせる』『2秒先のイメージを自分の頭の中に描き、未来を考えて動く身体を育てる』『ミスは、学ぶためのチャンスに変える』『プレッシャーをかけることで、答えを自分で見つけ出して動けるように持っていく』そして、失敗を見つけて叱るのではなく、隠れた良い所を見つけ出して、褒めて育てるという指導は、今までこども達が経験した事がなかったようで、褒められ、自分で答えを考えだしながら動いていくうちに、面白い様に成長し、チームもどんどん変化し、放送の最後にあった他のチームとの試合の中では、皆生き生きと笑顔で動いていました。

水族館の大きな水槽の中には、大きな魚と小さな魚と一緒に泳いでいますが、小さな魚は群れで動くことで、大きな魚に食べられないようにするそうです。

しかし、水族館は恵まれた環境の中。するとそんな小魚の群れの中に、一緒に行動しないのんびりと動く魚が出てくるそうです。

そこで、水槽に活きの良い大きな魚を加えると、小魚の群れの泳ぎが、急にシューとキレの良い群れの動きに変わるのだそうです。

どの世界でも、自分がのんびり安心した環境の中だと、好き勝手な事を始めてしまうのでしょうか・・・我がクラブも居心地よすぎて、去年はのんびり甘えて過ごしましたが、今年はちょっと、自分にもプレッシャーを与えて・・・と年の初めは思っているのですが・・・

<東京 YMCA 便り>

担当主事 村山 達哉

新年、あけましておめでとうございます。新しい年、2016年を迎えました。昨年は皆様にとってどのような年だったでしょうか？今年も皆様にとって、実り豊かな一年でありますよう、心からお祈り申し上げます。

年の瀬は皆様にとってもお忙しかったことと思います。教会を始め、各地でクリスマスをお祝いしたり、年末の大掃除や年始挨拶の準備に忙しかったりと、慌ただしい日々だったことでしょう。西東京センターでは、年末のウィンタープログラムの全てを無事に終えることが出来ました。一泊の宿泊プログラムが1つ、宿泊のスキーキャンプが2つ実施されましたが、約100名の子どもたちがYMCAに集い、リーダーや仲間と共に過ごす中で、子どもたちが成長していく様子を間近で見る機会が与えられたことに、心から感謝申し上げます。また、プログラム実施に向けて、努力や工夫を重ね準備を進めてきたボランティアリーダーたちにとっても、成長の機会となっていれば、これほど嬉しいことはありません。

1月に入り、スプリングプログラムの準備も始まってまいりました。それに加え、新しいボランティアリーダーを増やしていくためのリーダーリクルートや、各定例活動参加者への継続の案内など、新しい年度への準備も始まります。2016年もお支えいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

<西東京センター及び東京 YMCA の主な予定>

- 1/4 東京 YMCA 始業礼拝
- 1/9 在京ワイズ会長会、新年会
- 1/17 知的障がい児・者 余暇活動「あおぞら・つばさの会」1月例会
発達障がい児グループ活動「Smile」1月例会
中高生グループ活動「TeenS」1月例会
- 1/19 春季プログラムリーダーキックオフ&座学リーダートレーニング
- 1/22-24 リーダーOBOG 対象スキー実技トレーニング
- 1/23-24 幼児野外活動「にこにこ」・小学生野外活動「ロビンソン」妙高雪遊び一泊会
ドキドキ雪遊びキャンプ
- 1/24 知的障がい児・者 余暇活動「シャベルズ・いつみの会」1月例会
- 1/30-31 障がい児・者対象プログラムのためのスキーリーダートレーニング

ハッピーバースデー 2月はナシ

司会 清水ワイズ 聖書・祈禱 山口ワイズ 受付 石丸・山本ワイズ

卓話 大輪ワイズと（若い仲間？）台風の作り方、この指止まれ！

さくらフェスティバル 第1回打ち合わせに山口ワイズが参加しました、本番は4月2日・3日です、より発展したさくらフェスティバルにしましょう。